

2016年度 名古屋飛行場 管制交流会

2016/09/16



去る平成 28 年 9 月 30 日、県営名古屋飛行場の管制交流会を隣接する豊山町社会教育センターにおいて開催し、管制官、自衛隊及び民間のパイロット、各社の航務担当者など 40 名が参加しました。



JAPA 原 中部支部長



小牧管制隊 尾内一尉



小牧管制隊 栗山一尉

県営名古屋飛行場は、民間機はエアライン、GA のビジネスジェット、小型固定翼、ヘリコプターなどが利用しており、自衛隊機は、戦闘機、大型輸送機、救難機などが利用しております。このように多種多様な機体が飛び交い、管制は自衛隊が行うという特徴があります。

県営名古屋飛行場のようにトラフィックの多い環境下において、いかに安全を保ち、効率的に運航を行うかが今回のテーマでした。これは永遠のテーマでもあります。

前半は、あらかじめ提出された質問事項に管制側が答える形で進行。後半の意見交換では、操縦士協会中部支部、中里氏による絶妙な司会振りが発揮され、航空法、管制方式基準等に定められた事項から、名古屋空港のローカル・ルールにかかることまで忌憚ない意見交換が行われました。管制官、パイロットが忌憚ない意見を交換し、双方の理解、認識を一致させることが出来た有意義な交流会となりました。



閉会后、場所を名古屋市内の居酒屋に移し、35名の参加で懇親会が行われました。アルコールが入った懇親会の席上では参加者同士の親睦を深めることはもちろん、昼間よりさらに突っ込んだ議論が戦わされ、有意義な会となりました。